

# フクシマの子どもの未来を守る家ニュース

No. 62 (2019年2月17日発行)

1月27日(日)「大地を受け継ぐ」試写会 参加者13名 第3コミセンにて

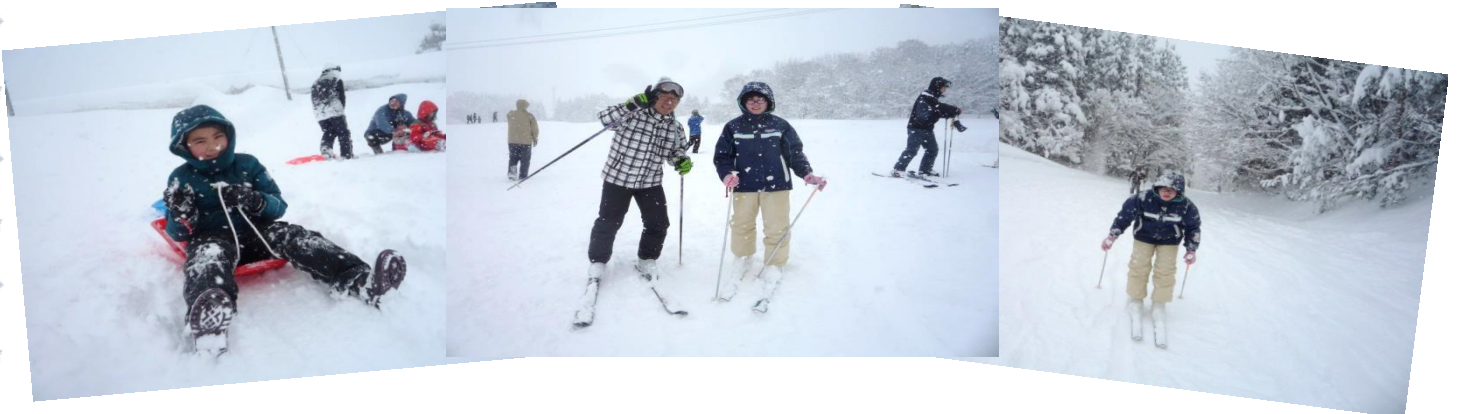
《アンケートに、感想ありがとうございました。一部を紹介します。》

- 8000個のキャベツ・ブロッコリー出荷停止…!?自分は食べないけど、生きるために出荷しなければならない「罪」の意識…。24袋の除染で出た土、我が家が永久処分場か?! 「生まれた以上、自分で命を絶ってはいけない」お母さんの言葉、重く受け止めました。
- 樽川さんが、原発事故にめげずに、先祖から受け継いだ土地を守るべく、お父様の想いを継いで頑張っておられることにエールを送りたい。映画の中での若い人たちへ話も未来に向けて大変良いことだと思った。また、お母様が隣近所と励ましあいながら力強く頑張っておられる姿にも感動しました。樽川さんとは、今日で2回目の出会いになりました。電力会社、政治の在り方に憤りを感じています。どうぞめげずに…応援しています!
- 勇気ある発言、行動にとっても感動しています。人間としてとても素直な言葉にあふれていました。現実には「嘘」が多いので、とても悲しくなります。人間はやはり自然の中で生活すべきであり、人間も動物なのだとことを忘れてはならない。お金と権力を手にした人間が世のなかを支配しているのが現状だと思いますが、本当のこと、小さい声を受け止め、声をあげていきたいと強く思いました。
- 日本有機農業研究会から、福島事故後、「有機農家の仲間が自殺した」と連絡が入ってきたことを覚えています。安全・安心を…と本物の農作物を追及してきたからこそ、原発事故で全人生を否定されたという思いが強かったのだと思います。  
「原発は本当に許せない!」

2月10日(日)たらのきだいスキー場で、「雪遊び&スキー」したよ!

参加：鶴岡市に長期避難親子(大人1名・小学生2名) サポーター1名

☆雪は降っていましたが、風は穏やか。新雪の上、ソリやスキーで、目いっぱい遊びました!



《ご報告》「藤井ようことフクシマ応援隊様(横浜市)より、支援金として25,000円いただきました。

ありがとうございました!

お問い合わせ先：フクシマの子どもの未来を守る家：事務局 080-6023-7490